

こしがや市議会だより

harmony

ハーモニー

No.228

令和7年(2025年)

5月1日

発行 越谷市議会
編集 広報・図書室協議会
☎963-9261(直通) ☎966-6006



- ◆主な議案の内容 ②③
- ◆審議結果 ③
- ◆常任委員会の審査 ④⑤
- ◆市政に対する代表質問 ⑥⑦
- ◆市議会からのお知らせ ⑧

「いのちと暮らしを守る」「子どもが輝く社会に」

「越谷の未来を創る」政策の実現に向けて

—令和7年度当初予算を可決—

3月定例会の概要

令和7年3月定例会は、2月25日から3月18日までの22日間にわたり開催しました。

本定例会では、「令和7年度越谷市一般会計予算について」など45件の市長提出議案をそれぞれ同意または可決しました。

また、議員提出議案2件を可決、1件を否決しました。さらに、委員会提出議案1件を可決しました。

なお、本定例会に提出された請願「国に「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）廃止の意見書」提出を求める件」は、賛成多数により採択しました。（各議案の結果は3ページに掲載しています。）

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

第5次総合振興計画後期基本計画 調査特別委員会を設置しました

令和7年3月定例会において、第5次総合振興計画後期基本計画調査特別委員会を設置しました。

本委員会は、市の最上位計画となる第5次総合振興計画の後期基本計画策定にあたり、調査・研究を行うものです。

今後の開催予定等については、決定しだい、市議会ホームページ等でお知らせします。

なお、委員の構成等につきましては、8ページをご覧ください。

市議会だよりの表紙写真を募集しています。
(詳しくは8ページをご覧ください。)

表紙の写真「こいのぼり祭り」
撮影者 堀之内 稔様(弥栄町在住)
撮影場所 不動橋(令和6年(2024年)5月)

こしがや市議会だよりの愛称「harmony」は、ワンチームを連想させ、調和を奏でるとの思いが込められています。

UD FONT
by MORISAWA



スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧いただけます。

マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/gikai/>



主 な 議 案 の 内 容

質疑および討論については、その主なものを掲載しています。

各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。



市長提出議案

越谷市副市長定数条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、副市長の定数を1人から2人以内に変更するため、提案されました。

本条例は、公布の日から施行します。

▶ 議案質疑

問 副市長の定数を増員する理由は。

答 市の治水対策を進めるにあたり、国土交通省から副市長を迎え、国とのパイプ役を担っていただきたいと考えている。

問 国とのつながりに不足があるのか。

答 中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト等を通じて実務担当者との接点はできたが、組織としても強いパイプが必要と考えている。

問 新たな副市長の報酬や退職金は。

答 給与は手当等を含めて年間1540万円、退職手当は1期4年間で1020万円を試算している。

▶ 反対討論

▷ 国土交通省から副市長を招くことや、将来的な費用対効果について、市長から明確な根拠が示されていないため、本議案に反対する。

▷ 副市長の職責を鑑み、治水対策のみをもって定数を増員することについて、市民の理解は得られないと考え、本議案に反対する。

越谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について

本議案は、児童福祉法の一部が改正されることに伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める必要があるため、提案されました。

本条例は、令和7年4月1日から施行します。

▶ 反対討論

▷ 預け始めの事故やアレルギー対応、子どものストレスなど、安全・安心の保育の観点から多くの懸念があるため、本議案に反対する。

令和6年度越谷市一般会計補正予算(第9号)について

補助金や事業費の確定等による整理、国の補正予算の活用による事業費の追加、公共施設等整備基金積立金の追加が主なものです。

▶ 議案質疑

問 体育館での暖房利用を許可していない理由は。

答 省エネの観点等から利用を控えるようお願いしているが、利用者の意見や気温の状況等を踏まえて検討していく。



令和7年度越谷市一般会計予算について

令和7年度当初予算は、第5次総合振興計画の着実な推進と、「いのちと暮らしを守る」、「子どもが輝く社会に」、「越谷の未来を創る」の政策実現に向けて編成されました。

令和7年度(2025年度)当初予算の概要

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	1324億円	14.4
特別会計	613億1200万円	▲0.1
病院事業会計	143億9680万円	▲0.9
公共下水道事業会計	105億820万円	0.4
総額	2186億1700万円	8.2

▶ 議案質疑

問 公共交通運賃補助事業について、今後のスケジュールは。

答 令和7年度当初に事業者と契約し、システム構築や関係機関との調整を行った後、令和7年12月の実施を目指していく。



越谷市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

本議案は、越谷市教育委員会教育長として、野口久男氏を任命することについて、議会の同意を求めるため、提案されました。

▶ 議案質疑

問 人選の理由は。

答 全国的に不登校児童生徒数が増加する中、学校現場や教育委員会での経験を生かし、生涯学習社会の実現に尽力いただきたい。

問 市民の声を聴くことができる人物か。

答 新教育長も含め、市民の声を聴くことは大原則であると認識している。

問 野口氏との今後の連携は。

答 総合教育会議等を通じて、今後も意見交換を行っていききたい。

市長及び副市長の給料の特例に関する条例制定について

本議案は、職員による相次ぐ不祥事件に対する管理責任として、市長および副市長の給料を減額するため、提案されました。

▶ 議案質疑

問 不祥事件の件数は。また、市長の給料の減額金額と、令和5年度から2年にわたり合計約26万円の月額給料増額を行った理由は。

答 市長就任以降の不祥事件は9件。月額約105万円から約84万円に減額するもので、過去の増額は人事院勧告に基づき判断した。

問 盗撮事案について、不安の声はあったか。

答 市民や職員からの心配の声を受け、トイレ内への貼り紙や、清掃業者による不審物等の確認を行っている。

問 これまでの再発防止策と今後の対応は。

答 職員に向けた通知や所属長への訓示、コンプライアンス研修等を実施してきたが、改めて研修内容や組織の在り方を検討していく。

問 日頃から職員の過ちを把握しているか。

答 報告を受けた事案については、原因や今後の対応を確認している。

▶ 反対討論

▷ 相次ぐ懲戒処分に対する市長の給料減額

の判断としては極めて甘く、市民に理解されないと考え、本議案に反対する。

議員提出議案

高額療養費制度の見直しは慎重審議するよう求める意見書について

本議案は、山田大助議員ほか9人から共同提案されました。

意見書の要旨 国会および政府においては、高額療養費制度の見直しの審議は慎重に行うよう求める。

意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

▶ 議案質疑

問 制度の変更が国民に十分に知られていないとする根拠は。

答 法改正を伴わないため、報道等が少なく、国民にも十分に知られていないと考えている。

国連女性差別撤廃委員会への拠出金使途除外等の撤回を求める意見書について

本議案は、山田裕子議員ほか6人から共同提案されました。

意見書の要旨 国においては、女性差別撤廃条約締結国として、勧告内容を真摯に受け止め、ジェンダー平等社会の一層の推進が図られるよう、国連女性差別撤廃委員会への拠出金使途除外等の撤回を求める。

意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)、外務大臣

▶ 議案質疑

問 国連が皇室典範を取り上げることについての見解は。

答 国連の勧告は、日本の歴史や伝統を否定するものではなく、日本国内のジェンダー不平等に関する問題提起であると考えている。

▶ 反対討論

▷ 皇位継承という国家の基本的事項に関する国連の勧告は不相当で、拠出金使途の除外はやむをえないと考え、本議案に反対する。

▷ 男系男子の皇位継承は女性の人権を侵害するものではなく、国連が皇位継承を取り上げることは不相当と考え、本議案に反対する。

▶ 賛成討論

▷ 勧告内容を真摯に受け止めるべきであり、拠出金を制限することは報復的な対応であると考え、本議案に賛成する。

▷ 勧告に対する報復的な措置は、政府が公的に人権を軽視する表明であり、許されるものではないと考え、本議案に賛成する。

消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止等を求める意見書について

本議案は、白川秀嗣議員ほか9人から共同提案されました。

意見書の要旨 国においては、インボイス制度を早急に廃止することを強く要望する。

意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣

委員会提出議案

越谷市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、議会運営委員会から提案されました。

常任委員会 (部門別)の審査

3月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案23件と請願1件が部門別の常任委員会に付託され審査を行いました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。

総務

国に「消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止の意見書」提出を求める件

本請願は、紹介議員ならびに参考人として請願団体のうち2名の出席を求め審査を行いました。質疑・討論の後、採決の結果、賛成多数により採択と決しました。

※なお、3月18日の本会議においても、賛成多数により採択と決しました。

問 インボイス制度の導入によって事業者が困難さを抱える具体的な事例や事務負担は。

答(参考人) 消費税申告・納税手続き、登録番号確認などが負担となっている。物価高騰の影響や、売上げが増加しても納税額も増加するため、廃業を選んだ事業者もいる。

問 政府が取り組みや検証を進める中、インボイス制度そのものの廃止を求める理由は。

答(参考人・紹介議員) 見直しが遅れた場合、倒産する事業者が出る可能性がある。中核市から廃止を訴えることにより、さらなる改善策に向けて政府が動くことを期待する。

▶**発言** インボイス制度は消費税課税の適正性・透明性を担保するために必要不可欠である。政府は納税者への負担軽減策も実施しているため、廃止を求めるのは時期尚早である。

▶**賛成討論** 事業者は、課税事業者となって大きな税負担を強いられるか、免税事業者のままで取り引きから排除されるかの2択を迫られている。事業者の過重負担は解消されおらず、その声を届けるため本請願に賛成する。



越谷市副市長定数条例の一部を改正する条例制定について

問 本条例の目的である治水対策事業の終了の目的は。

答 治水対策は短時間での解決は難しく、2人体制とする期間を現時点で限定できない。治水対策に目的が立った場合、条例を改正するかについては、その時点での判断になる。

問 国土交通省から副市長を迎え入れることについて、本市あるいは国土交通省のどちら

からの依頼か。今後の事務的手続きの流れは。
答 令和6年7月、国土交通省との意見交換会の後、市長から国土交通省幹部職員に治水対策のために国とのパイプ役となる国土交通省職員を副市長として迎え入れたいと話をした。本条例が可決された場合、国においてふさわしい人選等の調整に入るものとする。

▶**反対討論** 治水対策の一層の推進という提案理由に対して、市長から明確な証拠が示されておらず、市民からは納得されない。副市長の年間給与は1540万円、任期4年の退職金は1020万円であり、将来的な費用対効果などの根拠が不明確な市長思いつきの議案には賛成できず、本議案に反対する。

民生

越谷市犯罪被害者等支援条例制定について

問 対象とする犯罪の種類は。また、傷害見舞金の支給要件は。さらに、性犯罪に遭われた方への対応は。

答 本条例は「犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律」に準じ、人の生命または身体を害する行為の犯罪を対象とし、殺人、傷害、不同意性交などの犯罪行為を対象とする予定である。見舞金のうち、傷害見舞金は、故意の犯罪によって、1カ月以上の療養かつ3日以上入院等を要する重傷病を負った場合に支給される。また、犯罪に遭ったことの証明は、警察への被害届の提出の有無などで確認していきたい。なお、性犯罪に遭われた方は、警察への被害届提出をちゅうちょされる方もいることから、性暴力等犯罪被害専用相談電話である、「アイリスホットライン」での相談履歴など、他の方法でも確認できるよう検討していきたい。犯罪に巻き込まれたという点を考慮し、被害者に寄り添った、適切な対応をしていきたい。

環境経済・建設

越谷市土砂の堆積等の規制に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 条例改正に伴う申請手続きの変更点とその周知方法は。また、土壌汚染の基準について。さらに、現状の不適切な土砂の堆積への対応は。

答 条例改正により、盛土の内容や規模により、盛土規制法の範ちゅうとなる土砂の適正な堆積についての許可申請に加え、土砂が汚染されていないことについても届け出が必要になるため、施行前に十分な周知を図るとともに、盛土規制法の所管課である開発指導課と連携しながら適正に対応していく。また、土壌汚染の基準については、土壌汚染対策法の基準を踏襲している。さらに、不適切な土砂の堆積について、現在は本条例での対応となるが、条例改正の後には、規模に応じて盛土規制法により対応していく。

子ども・教育

越谷市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

問 緑の森公園保育所の名称決定の経緯は。また、保育所と地域とのつながりは。

答 当該保育所は、緑の森公園や久伊豆神社、越谷アリタキ植物園等と隣接している。緑が多く、保育に適した環境であることを生かし、

(仮称)緑の森公園保育所整備事業を進めてきた経過があり、地域の方々や入所予定の児童・保護者に広く認知されているため、正式名称とした。開所にあたっては、近隣自治会に案内をしており、開所後は、隣接する緑の森公園や久伊豆神社で散歩等をする中で、児童と地域の方々とのつながりが作られていくと考えている。また、久伊豆神社からは、児童を招いて、お囃子や木遣り等の伝統芸能に触れる機会を提供したいとの申し出もあり、積極的に活用していきたい。



緑の森公園保育所

越谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について

問 こども誰でも通園制度の実施にあたり、子どもを預けやすい環境づくりは。また、公立保育所での実施は。さらに、国への要望は。

答 自宅に近い場所に子どもを預けたい保護者が多いため、きめ細かな提供体制に取り組んでいきたい。また、少子化により保育所の利用者数も減少していく中で、制度の実施による想定約2900人の受け入れについては、民間保育施設の安定的な運営につなげていきたいが、公立保育所も含め、今後も提供体制の在り方を検討していく。課題については、機会を捉えて国に要望していきたい。

▶**反対討論** 預け始めの事故、アレルギー対応、子どものストレス、保育基準の緩和、市の責任の後退、保育未経験の事業者の参入リスクなど、安全・安心の保育の観点から多くの懸念があるため、本議案に反対する。

予算決算 常任委員会 の審査

3月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案16件が予算決算常任委員会に付託され、各分科会に送付し審査を行いました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。



総務分科会

令和7年度越谷市一般会計予算について

問 交付税措置のある有利な地方債を活用するための工夫は。また、令和7年度の地方債発行額のうち交付税への算入割合は。

答 交付税算入のある地方債の活用にあたっては、各種計画への位置づけなど、対象となるよう担当課と連携し、スケジュールの調整など工夫に努めている。また、令和7年度の一般会計の市債発行額約126億円のうち4

割強について、普通交付税算定上の基準財政需要額に算入される見込みである。

問 LGBTQのためのピアカウンセリング事業の主な内容は。また、事業の成果は。

答 LGBTQのための居場所づくり事業として「にじいろひろばKOSHIGAYA」を実施しており、性の多様性について理解を広める活動をしている当事者等をファシリテーターとして迎え、グループで話し合う場を設けている。令和6年度は延べ22名の参加があった。なお、若年層の参加者を中心に市内で当事者団体が設立され、今後は、ほっと越谷と協働して、性的少数者の理解啓発に取り組んでいくことを期待している。

問 防災情報提供ツールの見直しの内容は。また、実施にあたりモデル的に行う考えは。

答 職員自らが市公式LINEの機能拡張を開発できるオンラインサービスとなっており、画像等で災害情報を分かりやすく確認できるようにする。また実施にあたっては、出張講座等で周知し、防災に積極的な地区があれば連携しながらサービスを広げていきたい。

問 共同消防指令センターの建設について、工事の進捗状況は。また、物価高騰による今後の工事費等への影響は。

答 建設工事の進捗状況は、令和7年2月末時点で47.4%となっており、スケジュールについてはおおむね順調に進んでいる。また、本事業については、令和7年度中に事業を完了しなければならないことから、今後においても、物価高騰などに対応しながら、事業の完了に向けて進めていく。

民生 分科会

令和6年度越谷市一般会計補正予算(第9号)について

問 医療扶助費の増額理由は。また、生活保護受給者の健康診査の受診状況は。

答 被保護世帯の中で、医療需要の高い高齢者世帯、傷病者世帯、障がい者世帯の割合が高く、本市ではこの3つの世帯類型が世帯全体の約8割を占めている。これらに分類される方の受給率は年々増加傾向にあり、医療扶助費も増加している。国では、「被保護者健康管理事業」を創設し、本市も、毎年対象者に対して健康診査の受診勧奨を実施しているが、受診率は低いままである。今後は保健師等と連携し受診勧奨を行うなど、さまざまな方法を検討しながら、受診率向上に努めていきたい。

令和7年度越谷市一般会計予算について

問 川柳地区センター・公民館の整備に対する考え方は。

答 当該施設は、大型館として新たに整備する予定で、設置場所は、川柳地区センター・公民館建設検討委員会と市で協議を重ね、令和6年6月同委員会から市長へ、老人福祉センター「ひのき荘」の敷地の一部を活用する建設の要望書が提出された。川柳地区センター・公民館とひのき荘は、ともに指定避難所等に指定され、同一敷地内に整備することで、より多くの避難者の受け入れが可能となるほか、避難所運営の効率化が期待できる。

問 乳がん検診におけるマンモグラフィ検査の導入効果は。また、令和7年度の体制は。

答 令和6年度に視触診検査を行わないマンモグラフィ検査のみの検査方法を試験的に一部導入し、受診者数は昨年度より約450人増加した。令和7年度は、集団検診の検査をマンモグラフィ検査のみに変更するなど、受

診者を考慮した検診体制に努めていきたい。

問 動物管理業務の一部を保健所から動物管理センターに移管するメリットは。

答 保健所から動物管理センターへ狂犬病の登録等以外の業務が移管されることに伴い、動物管理センターに獣医師数名を配置する。このことにより、収容動物に対する迅速な治療や検査が可能になると期待している。その手法について検証していきたい。



動物管理センター

令和7年度越谷市病院事業会計予算について

問 当年度未処理決算金の計上額と現金預金残額を踏まえた今後の経営の考え方は。また、病院事業債に対する認識は。

答 当院では経営状況の悪化を受け、令和6年度から3カ年の収支均衡を目標に取り組んでいるが、当該期間での目標達成は厳しい状況にある。現在策定を進めている第7期中期経営計画では、入院診療単価の向上などの取り組みを掲げ、令和7年度以降、段階的に収支均衡を目指す財政計画としている。また、国から公立病院への支援を目的とした「地方債」が示され、当院の資金不足の対応として、地方債の活用を予定している。

環境経済・建設 分科会

令和6年度越谷市一般会計補正予算(第9号)について

問 河川整備費における応急対策事業の令和6年度の進捗状況と予算の減額理由は。

答 今年度に予定した事業は予定どおり執行できている。減額の理由は、構造や施工方法の見直しによる工事費の縮減などである。

令和7年度越谷市一般会計予算について

問 水辺活用事業におけるインフラ整備の内容は。また、クラウドファンディングの目標金額は。さらに、大相模調節池の新愛称「Sakura Lake」の活用方法は。

答 埼玉県、イオンモール株式会社と連携して実施している本事業では、本市は水辺周辺に建設する店舗手前までのインフラ整備を担っており、直接施工する下水道工事や道路改良工事の費用などを計上している。また、目標金額を100万円とし、自治体版クラウドファンディングを活用して寄付を募る。さらに、大相模調節池の新愛称は、広報紙への掲載などを通して、広くPRしていきたい。



Sakura Lake (大相模調節池)

問 自転車通行環境整備事業における設計委託料の内容は。また、具体的な整備箇所は。

答 本事業は、安全で良好な自転車通行空間を創出するため、自転車専用通行帯等の整備

を進めるものであり、来年度は、今年度実施した基礎調査をもとに整備に向けた詳細設計を行う。また、設計箇所は、駅に向かう道路として自転車通行量が多い、北越谷駅東口線と蒲生駅東口線の2カ所を予定している。

問 新モビリティサービス事業におけるモバイル決済時の通信障害への対策は。また、補助金額算定の根拠は。

答 決済時、通信障害等により割引されなかった際は、スマートフォンの画面を運転手に見せることで、割引対応できるような運用を予定しており、事業者とはさまざまなトラブル対応を想定して打ち合わせをしていく。また、初乗り運賃がバスは200円程度、タクシーは迎車含めて1000円であることから、それぞれの初乗り運賃の半額を助成する金額設定であり、バスは利用回数の上限はなく、タクシーは年間12回までとしている。

子ども・教育 分科会

令和7年度越谷市一般会計予算について

問 ベビーブック事業について、他市の事業との違いは。また、事業の周知は。

答 本事業で新生児を養育する家庭にプレゼントするオリジナル絵本は、赤ちゃんのプロフィールや保護者からのメッセージ、赤ちゃんが絵本の物語に登場するなど、オリジナルオーダーが可能である。また、本を直接自宅に送付することで、保護者が希望するタイミングで受け取ることができる。事業の周知にあたっては、越谷市に生まれてよかったと感じていただけるよう、また、シティプロモーションにもつながるものと考えていることから、市民および市外の方に対し、広く周知できるように努めていきたい。

問 校内支援教室(スペシャルサポートルーム)の目的と運用、子どもの居場所としての室内環境整備は。また、今後の増設予定は。

答 児童の学校内の居場所と学びの場の確保、不登校の未然防止、不登校児童の登校復帰を目的に設置している。利用手続きなく、すべての子どもが入室可能で、管理職や養護教諭、教育相談主任等が、児童の状態や保護者の希望に沿った支援を行っている。また、安心して気分転換できるよう、個別・共同の学習スペースやマット等を設置している。令和7年度以降も、国庫補助金を活用しながら、毎年度小学校5校ずつ整備を進め、令和11年度を目途に、市内全小学校への設置を目指していく。

問 しらこぼと運動公園第2競技場の人工芝化について、天然芝との比較は。また、夜間照明のLED化に伴う近隣住民や農作物への配慮は。

答 天然芝はメンテナンスに年間約400万円を要するほか、養生期間中はグラウンドを使用できない。一方、人工芝の維持管理費用は年間約50万円で、多少の悪天候でも使用できるため、施設の利便性や稼働率の向上、財政事情等を勘案し、人工芝化を判断した。また、夜間照明のLED化では、光が特定の方向に集中するよう設計された照明器具の選択や、必要最低限の照度での運用、遮光板の設置など、近隣住民や農作物への影響を最小限に抑える対策を検討していきたい。

各議案の概要・請願の内容は右記QRコードからご覧いただけます。



議案

請願

市政に対する 代表質問

※各会派の所属人数に応じた掲載枠となっています。

3月定例会では8会派が市政全般について質問を行いました。
※代表質問とは、会派を代表する議員が、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1会派2時間を目途に行われます。

各会派名の右に掲載しているQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、代表質問の録画映像をご覧いただけます。

自由民主党 越谷市議団

野口 佳司 議員



一般会計当初予算における基本的な考え方について

問 市民生活の安全・安心に直結する土木費について、どのような調整を行ったか。

市長 予算編成においては、市民生活への影響を踏まえ、緊急性や安全性、地域住民からの要望等を精査し調整を行った。当初予算では、年間の収入を過大に見積もることができないため、土木費への十分な予算措置が難しい状況であるが、繰越金等を活用し、9月の補正予算等での対応を検討していきたい。

問 各自治会からの要望に対して毎年度の積み残しがあると思うが、現状は。

市長 道路補修等に当たっては、多くの要望等があり、その中で緊急性や安全性、補修規模等を勘案し、順次補修等を行っているが、時間を要する案件もある。

越谷市立病院における救急医療体制の充実に向けた取り組みについて

問 医師の働き方改革が本格実施されたことによる影響をどのように分析しているか。

市長 市立病院では、令和6年度から医師の年間労働時間を960時間以内にする「宿日直許可」を取得しており、昨年度よりも超過勤務時間が削減されている。また、医師事務作業補助者の配置や、紹介受診重点医療機関として地域の外来機能の明文化連携を推進することで、医師の負担軽減を図っている。こうした医師の労働環境を改善することは、医師の確保にもつながると分析している。

問 浦和美園に800床を超える順天堂大学病院を建設する計画が中止となったが、順天堂大学および近隣大学病院との医師の確保に向けた取り組みは。

市長 市立病院では、日頃から順天堂大学と派遣していただく医師の調整を行っている。また、救急医療体制の強化に向け、救急医を追加派遣していただくための準備を進めている。さらに、獨協医科大学埼玉医療センターから2名の救急医を派遣していただいております。市立病院が必要としている診療科への医師派遣をさらに拡大できるのか、可能性を探っていききたい。



市立病院

市民の安心・安全な防犯のまちづくりについて

問 市が主体となって防犯灯を設置するべきと考えるが、市長の見解は。

市長 近年、全国的に刑法犯認知件数の増加や、犯罪の凶悪化などの傾向が見られ、市民生活が脅かされている中で、道路照明灯は道路を明るくすることによる交通安全対策のほか、犯罪抑止にもつながることから、今後は引き続き交通安全対策としての道路照明灯の設置を進めるとともに、防犯面にも配慮した道路照明灯の設置を検討していきたい。

問 防犯面に配慮した道路照明灯の設置を検討していきたいとのことだが、設置基準の改正に向けた具体的なスケジュールは。

市長 令和7年度に他自治体の事例や効果の調査、各種項目や整備方針等の調整を行ったうえで、設置基準を改正し、順調に進めば令和8年度に新基準による運用を開始できるよう取り組んでいきたい。

バス路線に対する市の対応について

問 公共交通を利用しづらい地区の一部の自治会から、住民の希望が多ければ、独自でマイクロバス路線を開設したいとの話を伺った。市民の暮らしを守る観点から、開設の運びとなった場合、財政的な支援を行う考えは。

市長 地域の自治会等が主体的に行う補助活動による運送サービスは、乗合交通を利用しづらい地域の移動手段として期待される一方、サービスの継続性等に課題がある。今後は地区の関係者と相談しながら支援の在り方を検討し、補助制度について国の動向や先進自治体の事例等を調査研究していきたい。

公明党 越谷市議団

竹内 栄治 議員



インフラ老朽化対策について

問 市の保有する管渠(污水管・雨水管)およびポンプ場施設の点検内容と結果は。

市長 口径1000ミリメートル以上の下水道管渠を約3.8キロメートル、流域下水道との接続箇所を10カ所、目視で点検を行ったが、管口周りに破損等の異常はなかった。

問 構造基準が適用されていない管路について、国の対応を待たずに独自に点検・調査を実施する考えは。

市長 圧送管吐き出し部等の下水道管渠約0.8キロメートルは、下水道法施行令の改正以前に整備され、構造基準の適用外となっているが、国が定める5年に1回の目視点検やテレビカメラ等を利用した詳細調査を実施している。今後も詳細調査を実施するとともに、国の補助金を活用しながら、構造基準に基づいた下水道管渠の改築に取り組む。

問 上下水道、農業用水等インフラが埋設された市道の路面下空洞調査を行う考えは。

市長 八潮市の道路陥没事故を受け、インフラの埋設状況を精査し、テレビカメラ調査等

の点検状況を踏まえ、対象路線の再検討、路面下空洞調査を実施する。

ゼロカーボンシティ実現に向けて

問 家庭用廃食用油をアスファルト合材製品の重油代替燃料として活用することで、CO2排出量を削減し、家庭用廃食用油の下水投棄を防ぐことができる。家庭用廃食用油のリサイクルを推進する考えは。

市長 家庭用廃食用油を重油代替燃料として活用することは、資源循環のみならず、地球温暖化対策にも寄与する。今後は他市の先進事例を参考に、家庭用廃食用油のリサイクルの可能性を検討するなど、引き続き市民・事業者と連携し脱炭素の推進に取り組む。

共生社会の実現について

問 認知症の症状発生を抑制し、認知症の方と家族の尊厳ある暮らしを守るため、ユマニチュードの普及に取り組む考えは。

市長 認知症に関する正しい知識や、認知症の方への接し方について、その普及啓発に努めながら、国による研究の動向を注視する。

問 認知症を早期に発見するため、認知症検診が必要と考えるが、市長の見解は。

市長 認知症の早期発見・早期受診につながる取り組みとして、認知症検診の実施について検討を進める。

带状疱疹ワクチン定期接種化について

問 50歳から64歳までの接種について、市独自の助成を行う考えは。

市長 50歳から64歳までの接種について、現段階で市独自の助成を行う予定はないが、今後、定期接種の対象年齢等が変更される場合には、国の方針にあわせて対応する。



越谷刷新 クラブ

野口 高明 議員



大袋駅東口駅前周辺整備について

問 以前の答弁は、構想の内容を踏まえ今年度は大袋駅東口駅前広場やアクセス道路整備、また既存道路の改修など、まちづくりの実現方策を検討するための基礎調査業務委託を実施していくとの答弁。進捗状況は。

市長 基礎調査業務委託を実施し、駅前広場やアクセス道路の整備について面的な整備事業、道路整備事業、既存ストックの活用など、それぞれの事業手法におけるメリットやデメリット、概算費用の算出、まちづくり上の課題や対応策を検討する。今後は基礎調査業務の内容を踏まえ、引き続き協議会および

関係権利者の意向を確認し、社会情勢の変化など幅広い視点を持って大袋駅東口周辺地区のまちづくりを検討する。

要望 新たな面的整備として検討していただきたい。

令和7年度の方針について

問 令和7年度施政方針大綱2のうち市立病院について、市立病院を取り巻く環境は依然厳しく、有効な手を打つことができなければ、廃院となる可能性も十分ある。経営健全化に向けた取り組みが急務であるが、建物の老朽化による市立病院の建て替え問題や市立病院の在り方検討など、喫緊の課題としながら施政方針には触れられていない。その理由は。

部長 今の経営状態ではとても建て直しの議論はできない。一番やるべきことは、紹介受診重点医療機関として地域のクリニックとの連携を図り、救急車を受け入れ経営改善を図るという認識で取り組む。

問 独立採算が原則の市立病院において、毎年一般会計から18億円の繰出金、救急患者の受入れは50%、建て替え検討する場合、500億から600億円。決めなくてはならない検討事項が先送りされ進展がない。市長は市立病院の将来的な在り方や方向性を、来年度中に決定する考えはあるか。大きな経営判断をするのか。いつまで先送りするか。

市長 在り方会議で検討しながら、その行き先については大きな影響があるため、それは慎重にする必要がある。来年度1年間しっかりと議論していきながら、できれば来年度中には大きな方向性は決めていきたい。

こしがや 無所属の会
菊地 貴光 議員



令和7年度地方財政計画と当初予算案について

問 当初予算案の特色は。

市長 防犯対策では防犯カメラの設置、水辺活用では水辺deベンチャーチャレンジ、公共交通では高齢者を対象としたキャッシュレス運賃補助などの事業を予定している。

問 令和7年度に新設・拡充された起債制度や特別交付税制度の活用は。

市長 災害への対応として緊急^{しゅんせつ}浚渫推進事業債、経営改善に取り組む公立病院を支援するための病院事業債の活用を予定している。

公共下水道の老朽化対策について

問 老朽化の進行と今後の改修見通しは。

市長 令和5年度末の有形固定資産減価償却率は、汚水で17%、雨水で13%。20年後には59%、72%となる。管渠老朽化率は、汚水で6%、雨水で50%であったものが、20年後には10%、53%となる。法定耐用年数を経過した施設が増加することから計画的な改修を実施していきたい。

人口減少・超高齢社会時代における自治会のあり方について

問 多忙化する自治会業務の軽減は。

市長 市からの回覧を令和6年度から原則行わないこととした。令和7年度からはポスター掲示も依頼しないことで調整している。

内部統制について

問 現在の取り組み状況は。

市長 令和5年に越谷市内部統制試行運用基本方針を策定し試行中。令和8年度より本格運用の予定である。

学校給食の安全性の確保について

問 食中毒・異物混入等の防止対策は。

教育長職務代理者 施設や学校での衛生管理を徹底している。食品納品時の確認、作業動線の区分、使用器具の確認、さらに給食センター所長や校長による検食を行っている。

大規模な災害・事故が発生した際の救助活動について

問 堤防が決壊した際の救助方法は。

消防長 救助要請があった場合、救命ボートや潜水器具を活用して行う。また、土砂で埋まっている場合には手掘りで行う。このための訓練を実施している。

立憲民主党 越谷市議団
後藤 孝江 議員



学童保育の現状と今後の方向性について

問 学童保育のニーズは今後も増加が見込まれ、利用ニーズの状況によっては、民間の協力を視野に入れていくことも考えられるが、本市の学童保育の現状と今後の方向性について、市長の見解は。

市長 本市では、増え続ける学童保育ニーズに対応するため、学校敷地内への保育施設の増設や、校舎内の転用可能教室等を活用した保育スペースの確保を進め、直近5年間で504人の定員増を図ってきたが、令和6年5月1日現在の待機児童数は395人となっている。令和6年度は大袋小学校および荻島小学校敷地内への新たな施設建設と市内の小学校4校で転用可能教室等の改修整備を行い、令和7年4月からの定員について、230人の拡大を図った。令和7年度中には、大袋東学童保育室の拡張工事および南越谷小学校の学童保育室増設に向けた準備を進める予定である。本市では、これまで継続的に公設学童保育室の施設整備を進めてきた。学童保育の今後の方向性としては、転用可能教室等のさらなる活用を検討するなど、効率的な受け入れ定員の拡大を図るとともに、公設学童保育室の待機児童解消の補完的な役割を果たす、民間学童が参入しやすい環境をつくるための支援を充実させていきたい。また、需要の高い夏休み期間における新たな試みとして、「こどもの居場所づくり事業」を行い、待機児童の解消に努めていく。さらに、この事業についても学童保育室と同様に、給食センターで調理した給食を提供することを考えている。

日本共産党 越谷市議団
工藤 秀次 議員



市民のいのちとくらしを守る物価高騰対策について

問 政府に対して抜本的な財政支援を要望する考えは。

市長 各種支援策を講じるためには、臨時交付金の増額、地方交付税による措置など、財源の確保が大きな課題である。国へ機会があるごとに現状を伝えとともに、実情に合わせた財政支援を求めている。

学校給食費の無償化について

問 政府は、令和8年度以降速やかに実施するとしているが市の考えは。

市長 現在、国において、まずは小学校を念頭に、令和8年度に実施する。そのうえで中学校への拡大についてもできる限り速やかに実現するといった動きがある。今後こうしたことを十分注視しながら対応していきたい。

地方交付税のさらなる増額を国に求めることについて

問 物価高騰対策や介護、国保、障がい、教育、市立病院など、あらゆるところで国庫負担が不足して、その増額がなければ制度の存続が成り立たない異常事態の状況にある。市長の見解は。

市長 物価やエネルギー価格などの急激な上昇をはじめ、さまざまな行政需要の高まりが国の財政措置を上回り、地方公共団体の財政を急速に圧迫している状況である。今回の大変厳しい予算編成の状況を見ると、現在の状況は健全であるとは言えないと感じている。さまざまな機会を通じて国へ財政支援を要望していきたい。

越谷市民 ネットワーク
山田 裕子 議員



イネカメムシ対策について

問 記録的な猛暑によりイネカメムシの影響と見られる不稔米や斑点米の被害が拡大し収穫量が大幅に低下しているが、昨年の越谷市における被害状況と具体的な支援策は。

市長 令和7年度当初予算においてイネカメムシ防除対策に係る補助金を計上している。今後とも水稻の安定生産が図られ持続的に農業経営が行えるよう、引き続き県や越谷市農業協同組合と連携し、有効なイネカメムシ対策を周知啓発するとともに、計画的な防除に対する取り組みを支援していく。

不登校支援について

問 いじめ、自殺、不登校、この3つをなくしていくことが今の教育行政に最も求められている。特に不登校の子どもたちに対する支援は、いじめや自殺につながるSOSを把握するために大切だが、さらなる取り組みは。

教育長職務代理者 本市においても不登校児童生徒数は増加傾向にあり、その要因も多様化、複雑化している。令和6年度は新たな取り組みとして定時制および通信制高等学校関係者を招いての進路説明会の実施、教育支援教室「おあしす」西教室開室、小学校5校へのスペシャルサポートルーム新設等を行った。進路説明会においては173名の参加があり、主体的な進路選択の一助となったと認識している。今後もオンラインによる授業配信や教育支援教室「おあしす」の運営、スペシャルサポートルームの増設、進路説明会の充実、スクールソーシャルワーカーによるアウトリーチの実施、フリースクールとの連携強化など不登校児童生徒への支援に努める。

日本維新の会
小林 成好 議員



特殊詐欺被害について

問 特殊詐欺被害の現状と対策は。

市長 越谷警察署管内では、令和6年中の暫定値で被害件数100件、被害額約2億7400万円の特殊詐欺が発生しており、前年と比べ件数・被害額ともに増加している。種別では親族をかたる「オレオレ詐欺」が最も多く、次いで市役所職員等を語る「還付金詐欺」や「預貯金詐欺」が発生。本市では「通話録音機器」の無償貸与や越谷警察署および関係団体等と連携したより一層の注意喚起・周知啓発に取り組んでいく。

しがや市議会からの



議会人事

令和7年3月定例会において、第5次総合振興計画後期基本計画調査特別委員会が設置され、次の方々が選出されました。

(◎委員長 ○副委員長)

- | | | |
|--------|--------|-------|
| ◎竹内 栄治 | ○立澤 貴明 | 大野 恭子 |
| 藤部 徳治 | 小林 成好 | 横井 聖美 |
| 浅古 高志 | 山田 大助 | 山田 裕子 |
| 後藤 孝江 | 金井 直樹 | |

4月臨時会について

令和7年4月臨時会を4月24日(木)に開催し、以下の市長提出議案を原案のとおり同意または可決しました。

- ・越谷市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ・越谷市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
- ・越谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

6月定例会の開催予定

令和7年6月定例会は、6月2日(月)から19日(木)までの18日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(☎963-9261)



越谷特別市民 **ガーヤ**ちゃん

傍聴して一言

本定例会では、58人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

- 議員が越谷市についてよく勉強していると思った。これからも頑張してほしい。
- 初めて傍聴したが、分かりづらいという印象。もう少し分かりやすいやり取りが聴ければ、議会や市政に興味・関心が持てると思う。
- 次回は他会派の議員の質問も傍聴してみたいと思った。
- 旧庁舎とは異なり、明るい雰囲気の議場で、デジタル化もされていて良かった。介護の分野に傍聴者の関心があると感じた。

市議会ホームページをご覧ください

市議会ホームページには、定例会に関する情報や議員名簿、議会の仕組みなど、多数のコンテンツを掲載しています。

また、議会中継、会議録検索システムへのリンクも掲載しています。議会に関する情報取得にぜひご利用ください。



表紙写真を募集します あなたが撮影した写真を掲載します！

令和7年8月1日号のしがや市議会だよりの表紙写真を募集します。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

応募規定

1人1回につき2枚まで。おおむね3年以内に撮影したもの。(ただし、景観に変化がなければ制限はありません)

応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

応募期間

令和7年(2025年)7月11日(金)まで

応募方法・応募先

応募票に写真を添えて議会事務局(本庁舎7階)まで提出してください。

また、写真をメールで提出していただくこともできます。採用された写真には、応募者(撮影者)の氏名、写真のタイトル、撮影場所を掲載します。なお、応募写真は表紙に合わせて、適宜トリミングや文字の追加等の画像編集を行いますのでご了承ください。

※応募規定など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

市議会 豆知識

市議会の用語や仕組みを解説します。

●意見書

地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。地方自治法で規定されており、具体的には、議員が発案して本会議にはかり、議長名で国会または関係行政庁に提出します。

請願・陳情をオンラインで提出できるようになりました

請願・陳情は、国や県、市などに対して、市民生活についての意見や要望・希望を述べる制度です。

越谷市議会では、令和7年4月1日から、請願・陳情のオンラインによる受け付けを開始しました。(これまで同様に、議会事務局の窓口等で提出することもできます。)

提出方法など、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。



議会体験講座「しがや市議会を学ぼう!」を開催します

- 日時** 令和7年8月2日(土) 午前10時00分~11時30分
- 会場** 越谷市議会本会議場および第1委員会室(越谷市役所本庁舎8階)
- 対象** 市内在住の小学生(4年生以上)および保護者
- 内容** 議会に関する講座、議場等の見学と体験、議会クイズなど

詳しい応募方法等については、広報しがや7月号、市議会ホームページ等でお知らせします。

編集後記

新緑が美しい季節となり、皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和7年3月定例会では、令和7年度の予算案を審議しました。市では、地域の皆様と一緒によりよいまちづくりに取り組んでいます。福祉や教育、環境政策等に力を入れ、市民生活がより豊かになるよう努めています。

これからも、皆様と手を携えて、明るい未来に向かって進んでいきます。

広報・図書室協議会委員
藤部 徳治